

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-04-01	戦略プラン	○協働 ●業務 ○財務 ○人事	
事務事業名	複合施設開設準備費	部課名	地域文化スポーツ部複合施設準備室	課長名	堀
		担当者名	村木	内線	2256
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-01-01	複合施設建設費			
	01-01-02	複合施設開設準備費			
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）		○建設事業	○それ以外の継続事業	
開始年度	○昭和 ●平成	18年度	根拠		
終期設定	●有 ○無	28年度	法令等		
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準	計画区分	●計画 ○非計画		
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市		
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進		
	施策	01	芸術・文化の振興		
目的	以下の三つの機能を融合させた複合施設「ゆいの森あらかわ」を、荒川二丁目に整備する。 ・大規模な蔵書をもとに、区民の課題解決等と全ての世代の読書活動を支援する図書館機能 ・荒川区出身の作家吉村昭氏に関する資料の収集・研究・保管を行い、氏の業績を記念する文学館機能 ・子どもに豊かな遊びや幅広い体験・交流の場を提供する子ども施設機能				
対象者等	区民等				
内容	○施設全体 ・施設の建設工事、周辺整備との連携 ・三つの機能を融合させ、これまでの各機能の枠を越えた事業を施設全体として運営する仕組みづくり ・「ゆいの森あらかわ」開館に向けた機運の醸成 ○図書館機能 ・大規模図書館にふさわしい資料の選定及び調達 ・効率的かつ効果的な蔵書管理方式の導入とサービス向上に向けた検討 ○文学館機能 ・吉村昭氏に関する資料の収集及び研究 ・展示計画の策定 ○子ども施設 ・遊具や体験教材の調達				
経過	平成18年 4月 これからの図書館調査懇談会報告 平成21年10月 複合用地取得（経理課において取得） 11月 複合施設の設置及び運営に関する懇談会の設置 平成23年 7月 （仮称）荒川二丁目複合施設基本計画策定 平成24年 3月 荒川地区都市再生整備計画策定 10月 （仮称）荒川二丁目複合施設基本設計及び展示基本設計完了 平成26年 3月 （仮称）荒川二丁目複合施設実施設計完了 10月 複合施設の建設工事着工 平成27年 2月 施設の愛称名を「ゆいの森あらかわ」に決定、プロトタイプにより施設運営事業者を決定 8月 図書館機能開設準備業務委託契約締結 平成28年 1月 ロゴマークの決定 3月 管理運営方針の策定 6月会議 設置条例制定				
必要性	「ゆいの森あらかわ」の整備により、世代や地域、目的が違う人々が集い、交流と経験の共有を通して、知の集積や発信、新たな知的文化活動の誘発や企画が生まれ、荒川地区はもとより、区内全体の知とコミュニティの醸成を図る。				
実施方法	（1直営）（直営の場合 ●常勤 ●非常勤 ○臨時職員） 施設運営等の検討に当たっては、非常勤職員を採用して実施するとともに、専門家や関係団体、区民等から幅広く御意見を伺いながら進める。				

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額		18,857	100,349	226,947	321,106	2,506,894	827,606
①決算額（28年度は見込み）		8,386	24,284	223,203	179,656	2,410,597	667,226	4,170,456
②人件費等		10,028	12,280	14,044	7,485	21,630	20,394	
③減価償却費		3,341	4,510	5,486	3,042	9,103	9,044	
【事務分担量】（%）		115	145	170	90	280	265	
合計（①+②+③）		21,755	41,074	242,733	190,183	2,441,330	696,664	4,170,456
特定財源の推移	国			27,916	33,990	140,700		
	都							
	その他							
	一般財源		21,755	41,074	214,817	156,193	2,300,630	696,664
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	関連事業の参加人数（人）					160	518	900

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
工事請負費	建築工事費	2,375,794	工事請負費	建築工事費	581,300	工事請負費	建築工事費等	3,359,592
委託料	工事監理費	28,535	委託料	図書館機能開設準備委託等	75,850	委託料	図書館機能開設準備委託等	479,458
報酬	非常勤職員報酬	3,056	報酬	非常勤職員報酬	3,589	備品購入費	初度調弁	230,582
需用費	消耗品費、印刷製本費	1,256	備品購入費	職員用什器等	3,212	需用費	初度調弁（消耗品費）、印刷製本費	60,320
負担金補助及び交付金	電柱移設負担金	771	需用費	消耗品費、印刷製本費	1,784	役務費	物品・図書等の運搬費等	30,420
報償費	アドバイザー謝礼等	426	役務費	通信運搬料等	523	報酬	非常勤職員報酬	5,813
共済費	社会保険料（非常勤）	412	共済費	社会保険料（非常勤）	437	報償費	アドバイザー謝礼等	2,167

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度 見込み	目標値 (28年度)	
①	関連事業の参加人数（人）		160	518	900	900	「ゆいの森あらかわ」の開館に向けた周知イベントの参加者数
②	整備の進捗率（%）		7	28	100	100	
③							

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> 「ゆいの森あらかわ」の認知度の向上 「ゆいの森あらかわ」のサービスを担う人材の育成とボランティアの導入 平成29年3月の開館に向け、他部署・他機関との調整を行いながらのスケジュール管理 開館後の本施設の活用方法や事業計画の具体化
他区の実況	（実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区） 図書館、文学館、子ども施設の三つの機能が融合した施設は他区にはなし。

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	資料の調達を進めるとともに、自動認識技術の導入の可否を判断の上、蔵書管理の改善等を図る。	効率的かつ効果的な選書体制を構築した上で資料の調達を実施した。また安定稼働等に課題が残る自動認識技術の導入は見送ることとした。	施設の開館に向けて、図書資料の調達を含めた初度調弁等の作業を遅滞なく行う。
②	開館後の講座やイベントの実施に向け、詳細な事業内容の検討を進めるとともに、ボランティアの導入に向けた準備を行う。	施設の管理運営方針を平成27年3月に策定した。また、同月に開催したプレイベントではボランティアの募集について周知を行った。	全庁から施設の活用案を提案してもらい事業計画を具体化するとともに、主に施設で活動いただけるボランティアの育成に取り組む。
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
重点的に推進	休止・完了	平成29年3月の開館に向けて、より効果的かつ効率的な運営体制の構築や事業計画の策定、初度調弁の準備、機運の醸成を、より具体的な形で進めていく必要がある。なお、平成29年3月開館のため、29年度は事業完了とする。

況議 （要 旨） 問 状	<ul style="list-style-type: none"> H24 二定 施設の設置に向けた財政的な負担について H27 2月会議 読み聞かせの推進とボランティアについて H27 9月会議 運営方針等について H27 11月会議 図書館機能の準備について H28 6月会議 区のシンボリック施設としての全庁を挙げた事業展開について
--------------------------	---

事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-04-02	戦略プラン	○協働	●業務	○財務	○人事
事務事業名	吉村昭記念文学館推進事業	部課名	地域文化スポーツ部複合施設準備室	課長名	堀	担当者名	田邊
				内線	2256		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-01-01	複合施設建設費					
	01-01-02	複合施設開設準備費					
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）			○建設事業		○それ以外の継続事業	
開始年度	○昭和 ●平成	18年度	根拠				
終期設定	●有 ○無	28年度	法令等				
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	●計画 ○非計画			
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進				
	施策	01	芸術・文化の振興				
目的	郷土を代表する作家・吉村昭氏に関する資料の収集、研究等を行うとともに、同氏の作品等を基盤とした幅広い文化活動を展開することにより、区民の心を育み、区の文化振興に寄与する。						
対象者等	区民等						
内容	○吉村昭氏に関する資料の収集、整理、保管及びその研究 ○展示計画の策定、展示室の設計、展示物の製作 ○展示活動や講演会を通じた、吉村昭氏と同氏の作品の普及啓発 ・ 日暮里図書館吉村昭コーナーミニ展示 ・ 荒川ふるさと文化館郷土学習室「吉村昭の部屋」ミニ展示 ・ 企画展や講演会の開催 ○文学館の開館に向けた機運の醸成のための友の会の設置や、広報誌の発行						
経過	平成4年5月 吉村昭氏区民栄誉賞受賞 区役所1階で作品展開催 日暮里図書館吉村昭コーナー設置 平成16年4月 区内の各図書館に吉村昭著作コーナーを設置 平成18年7月31日 吉村昭氏逝去 11月 文学館のあり方に関する懇談会設置（～19年3月） 平成19年1月 講演会 6月 文学館基本構想委員会設置（～20年3月）7月 講演会、企画展 平成20年7月（仮称）吉村昭記念文学館推進委員会設置 7月 追悼イベント 10月 企画展、講演会 平成21年6月 企画展、講演会 平成22年6月 企画展 7月 講演会 平成23年3月 朗読会、講演会 9月 パネル展 平成24年3月 朗読コンサート 12月 パネル展 平成25年3月 朗読コンサート 平成26年1月 パネル展、講演会 平成27年3月 開館プレイベント①（講演会） 吉村昭記念文学館友の会設立 吉村昭記念文学館展示等検討委員会設置 6月 展示製作業務委託契約締結 8月 開館プレイベント②（講演会）						
必要性	吉村昭氏の業績を後世に伝えるとともに、吉村作品を通してさらに広範な文学の世界に触れる機会を広く区民に向けて提供することは、荒川区における文化を深めていくことに寄与する。						
実施方法	（1直営）（直営の場合 ●常勤 ●非常勤 ○臨時職員） 文学館の開館準備に当たっては、学芸員の資格等を有する専門の非常勤職員を採用して実施するとともに、文学館展示等検討委員会などを通じて、専門家の御意見も伺いながら進める。						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額		21,679	11,974	9,531	11,222	19,464	21,288
①決算額（28年度は見込み）		12,159	5,016	3,612	7,984	16,272	16,705	229,377
②人件費等		25,813	14,950	14,736	15,333	7,725	8,081	
③減価償却費		14,525	11,818	12,263	12,844	3,251	3,584	
【事務分担量】（%）		500	380	380	380	100	105	
合計（①+②+③）		52,497	31,784	30,611	36,161	27,248	28,370	229,377
特定財源の推移	国							
	都							
	その他							
	一般財源	52,497	31,784	30,611	36,161	27,248	28,370	229,377
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	記念事業の参加人数（人）	89	87	85	78	160	217	900
	文学館友の会会員数（人）					200	350	700

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報酬	非常勤職員報酬	8,113	報酬	非常勤職員報酬	8,549	委託料	文学館展示制作委託等	193,733
委託料	証言記録映像制作委託等	4,125	委託料	証言記録映像制作委託等	4,727	報酬	非常勤職員報酬	12,383
共済費	社会保険料（非常勤）	1,112	共済費	社会保険料（非常勤）	1,197	需用費	初度調弁（消耗品費）、印刷製本費	7,933
需用費	消耗品費、印刷製本費等	749	報償費	展示検討委員会等謝礼	662	使用料	著作権使用料等	5,712
賃金	資料整理臨時職員賃金	708	旅費	近接地外旅費	454	備品購入費	初度調弁、自筆原稿購入費	5,254
旅費	近接地外旅費	517	需用費	消耗品費、印刷製本費等	449	共済費	社会保険料（非常勤）	1,629
役務費	トランクルーム保管料	477	役務費	トランクルーム保管料	389	報償費	展示検討委員会等	1,070

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度 見込み	目標値 (28年度)	
標	① 記念事業の参加人数（人）	78	200	217	900	900	文学館の開館周知や開館記念イベントの参加者数
	② 文学館友の会会員数（人）		200	350	700	700	吉村昭氏の功績や作品を広く周知するための指標
	③						

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> 文学館の開館に向けて、区民に吉村昭氏及び吉村文学を周知する必要がある。 文学館開館後も引き続き多くの方に友の会に入会してもらえるよう、特典やイベント等検討していく必要がある。
	他区の実況 （実施 11 区 未実施 11 区 不明 0 区） 文学館設置区 中央区、新宿区、文京区、台東区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、杉並区、北区、練馬区

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	文学館の認知度の向上と、区内の機運の醸成を図るため、友の会の普及活動や、開館イベントを実施する。	氏の御子息による講演会の開催や様々な機会を捉えたチラシの配布等周知活動にも注力したことで、認知度の向上を一定図ることができた。	文学館の開館に向けて、友の会の組織運営の拡充やオリジナルグッズの製作等に取り組むことで、更なる認知度の向上を目指す。
②	文学館の常設展示の内容を詳細まで固めるとともに、文学館の開館にあわせて実施する予定の企画展示等の内容を検討する。	検討委員会での議論を経て、常設展示の内容の改善・見直しを図った。また、企画展については、開館後5年間のテーマ案を策定した。	展示内容を確定し、展示物等の製作を遅滞なく進めるとともに、文学館の経常的な事業内容を具体化する。
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
重点的に推進	重点的に推進	広く区民に対し、作家吉村昭氏とその作品の紹介を継続して行い、文学館の開館に向けた区内の機運の醸成を図る。また開館後となる29年度は、企画展等によって館を周知するほか、友の会会員を新たに募集し、館の運営を軌道にのせる。

況議 （要 旨） 問 状	・H18 一定	吉村昭氏の記念文学館又は図書館併設の記念文庫の設置について
	・H18 三定	記念館の設置要望について
	・H23 四定	文学館開館に向けた事前周知について